

日本風景街道だより

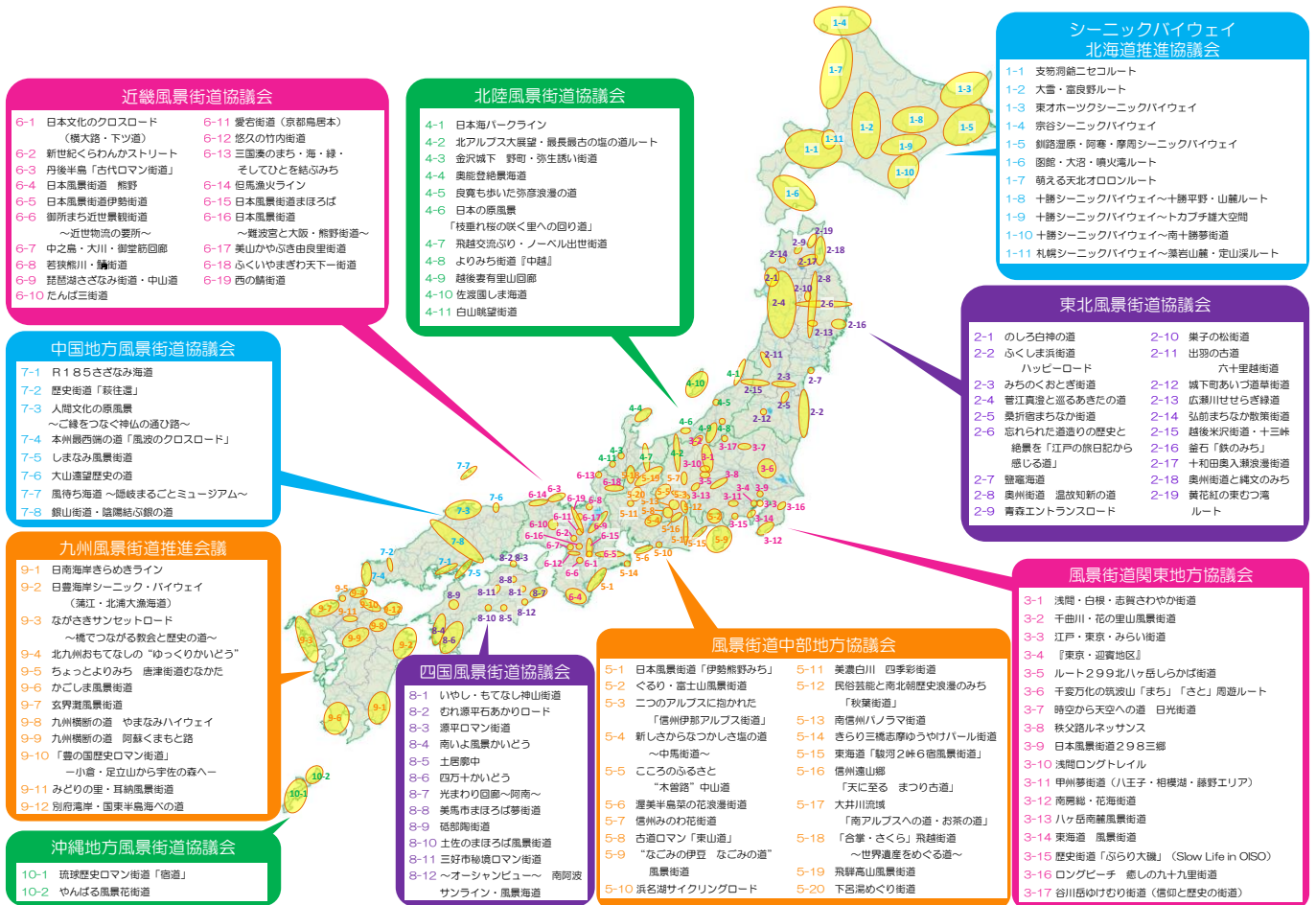
2014年冬 Vol.27

全国で131の風景街道が登録

全国で131の風景街道が登録されています(平成25年10月末現在)。

登録された各風景街道の概要は、日本風景街道ホームページ

(<http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/index.html>)、もしくは各風景街道地方協議会ホームページで閲覧することができます。



シリーズ：各地域の風景街道の取り組み

筑波山美しいまち・みちづくりパートナーシップ代表者会議の取組

ルート名：千変万化の筑波山「まち」「さと」周遊ルート

1. ルート概要

千変万化の筑波山「まち」「さと」周遊ルートは、筑波山を中心として、土浦市・石岡市・下妻市・つくば市・筑西市・かすみがうら市・桜川市の7市を繋ぐ広域ルートです。活動主体である「筑波山美しいまち・みちづくりパートナーシップ代表者会議」は、前述7市内で活動する39団体が構成され、「筑波山及び周辺地域における良好な景観を守り、育てること」を基本理念として、①景観等の保全及び創出活動 ②歴史・文化などの地域資源の発掘 ③情報交換及び情報発信などの活動を行っています。



周遊ルート図

<<http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/doboku/01class/class04/scenicbyway-ibaraki/route.html>>

2. これまでの主な活動

(1) 筑波山ベストビューコンテスト

本コンテストは、筑波山の眺望をテーマとした参加型のイベントを行い、新しい筑波山の魅力を開発することによって、筑波山周辺地域への注目をより一層高め、また筑波山周辺景観の保全や活用及び地域の活性化へとつなげていくことを目的として、平成17年11月から平成18年2月にかけて実施しました。

筑波山が美しく見える場所を対象とし、ベストビューポイント(立ち止まって筑波山を眺められる「地点」)とベストビュールート(車や自転車で筑波山をみながら移動できる「道路」)の2種類に分けて募集を行った結果、563件にもものぼる応募をいただきました。

有識者や観光事業者等で構成された「筑波山ベストビューコンテスト実行委員会」の審査により、ベストビューポイント8箇所、ベストビュールート7路線、委員特別賞3地点が選定されました。



母子島遊水地^{※1}から望む筑波山



つくばりんりんロード^{※2}と筑波山

写真出典：筑波山ベストビューコンテスト

※1 最優秀ベストビューポイント

母子島遊水地は、小貝川と大谷川の合流点に整備された、面積約160haの遊水地です。ここは知る人ぞ知るスポットとして大変価値が高いビューポイントで、3つの峰が連続する美しい筑波山の形が見える数少ない場所であるばかりか、水面に映る「逆さ筑波」、水面を囲む春の桜、頂上から登る朝日など、季節や時間によって姿を変える多様性、周辺景観との調和等が評価されました。

※2 最優秀ベストビュールート

つくばりんりんロードは、廃線となった旧筑波鉄道の敷地を利用して整備された、延長約40kmの自転車専用道路です。この道路を自転車で走ると、遠くからも至近からも、また、見る方角によって様々に変わって見える美しい筑波山の姿形、さらには、主な駅舎跡地に整備された休憩施設などの利用環境が評価されました。

(2) パートナーシップロゴマーク

平成19年1月に一般から募集し、113名から163作品の応募がありました。

平成19年3月にロゴマーク選定会議において最優秀賞及び優秀賞(30点)を決定し、19年4月に表彰式を開催しました。



「筑波山美しいまち・みちづくり
パートナーシップ」ロゴマーク

(3) 筑波山への誘導看板及び周遊ルートの案内看板の設置

平成20年度から22年度にかけては、国の補助金を活用し、筑波山への誘導看板及び周遊ルートの案内看板を設置しました。

誘導看板は、県が管理するつくば市内の国道及び県道に計7箇所設置しました。看板のデザインにはロゴマークをプリントし風景街道の活動をPRしました。

また、周遊ルートの案内看板は、周遊ルート上で多くの方が訪れ、かつ筑波山が綺麗に見える箇所の中から3箇所を選定し設置しました。看板には周遊ルートに加え、筑波山ベストビューコンテストで選ばれた写真及びその撮影位置などの情報も記載し、見た方が筑波山や周遊ルートに興味をもっていただけるように工夫を凝らしました。(案内看板の内容は周遊ルート図参照)



筑波山への誘導看板設置状況



周遊ルート案内看板設置状況

(4) ツール・ド・つくばの開催（平成 23 年度優秀活動賞の受賞）

「ツール・ド・つくば」は筑波山周辺をコースとした自転車競技大会であり、大会を通して筑波山の魅力を再認識していただき、筑波山周辺地域の活性化につなげることを目的として、(一社)つくば青年会議所(パートナーシップのメンバー)の主催で、平成 21 年より毎年 6 月に開催されています。筑波山の標高にちなんだ 877 名の選手が、全長約 12km、標高差約 500m を駆け抜けるヒルクライムレースであり、毎年大変な賑わいをみせる大会になっています。

また、競技大会期間以外でも地方公共団体や民間企業が協力してルートの清掃活動が実施されるなど、地域に根ざしています。

これらの活動が実を結び、「ツール・ド・つくば 2011」の開催とルートの清掃活動の連携した取組が観光客増加や新たな付加価値をつける取組であるとの評価を受け、今年度、日本風景街道関東ブロックの平成 23 年度年間優秀活動賞の観光振興への寄与部門に選定されました。



開催状況



ルートの清掃活動の様子

3. 今後の展開

この度の受賞を契機として、周遊ルートの魅力をさらに伝えていくため、ツール・ド・つくばの活動を中心として、パートナーシップの各団体が実施している道路美化活動等についても今後ますます発展させていきたいと考えています。

また、パートナーシップ全体で取り組む活動についても、活動資金の確保等の問題はありますが、各種助成金の活用を検討するなどし、展開していきたいと思えます。

4. おわりに

筑波山は、「西の富士、東の筑波」と称される名峰です。また、眺める場所によって違った姿を見せてくれると共に、周辺の風景と四季の彩りにより様々な表情が見られ、まさに千変万化です。

ぜひ一度足をお運びいただき、みなさんも自分だけの筑波山を発見してください。

< 執筆者 >

千変万化の筑波山「まち」「さと」周遊ルート 行政事務局

シリーズ：各地域の風景街道の取り組み

「合掌・さくら」飛越街道の取り組み

ルート名：「合掌・さくら」飛越街道～世界遺産をめぐる道～

1. ルート概要

「合掌・さくら」飛越街道は高山市荘川町から富山県南砺市福光までの国道156号及び国道304号などを含む総延長約83kmのルートです。当ルートは、御母衣(みぼろ)ダムに沈む運命にあった桜を多くの桜を愛する人々の情熱により移植を成功させた2本の名桜「荘川桜」、1995年にユネスコの世界文化遺産に登録された「白川郷・五箇山の合掌造り集落」や曳山祭やおぎや祭などが有名な越中の小京都 城端(じょうはな)など有数の観光資源をもつルートです。



ルート位置図

2. 主な地域資源

【自然景観資源】

荘川桜、魚帰りの滝、ササユリ群生地、七福枡(高山市荘川町)

白水の滝、白水湖、白山スーパー林道、天生峠(白川村)

桂湖、桜ヶ池、縄ヶ池、夫婦滝(南砺市)

【歴史・文化資源】

村芝居、化石、日本一連獅子祭り(高山市荘川町)

どぶろく祭り、民謡及び獅子舞、国指定重文「和田家」(白川村)

五箇山麦屋祭り、こきりこ祭り、曳山祭、おぎや祭(南砺市)

【体験・交流資源】

ODファーム荘川(スノーシュー、ウインターラフティング等)、そば打ち体験(高山市荘川町)

トヨタ白川郷自然学校(雪の森の散歩、季節のナイトハイク等)、合掌造り民家園(草木染め体験、餅つき体験)(白川村)

豆腐づくり体験、じょうはな織館(南砺市)

【施設・情報資源】

飛騨荘川の里、荘川であいの森、道の駅桜の郷荘川、桜香の湯(高山市荘川町)

道の駅飛騨白山、大白川温泉しらみずの湯、平瀬温泉、遠山家民俗館、白川郷合掌造り集落、道の駅白川郷、世界遺産白川郷ライトアップ(白川村)

道の駅上平、国重文岩瀬家、国重文村上家、桜ヶ池クアガーデン、じょうはな座(南砺市)



庄川桜（樹齢 500 年余）



白川郷荻町合掌造り集落



五箇山菅沼合掌集落



五箇山相倉合掌集落

3. 主な活動内容

① 清掃活動

当街道は平成14年に東海北陸道福光IC～白川郷IC間が、平成20年に清見IC～白川郷IC間が開通し、それまではそれなりにあった国道156号の交通量が激減しました。とはいえ路肩等に遺棄されたゴミについては積雪期から春になると目立つものです。そこで、ほぼ雪がなくなった4月下旬にそれぞれの地域で春の清掃活動が行われます。多いときには軽トラックがいっぱいになるほどのゴミが拾われますので、当街道を通るドライバーのマナー向上を願って止みません。

また、秋の観光シーズンが終わった11月中旬にも清掃活動を行います。



清掃活動の様子



集まったゴミ

② 桜の植樹活動

毎年春に、「太平洋と日本海を桜でつなごう」という夢を実現しようと、名古屋から金沢までを結ぶ名金急行線の路線沿いに桜を植え続けた旧国鉄バス車掌 佐藤良二さん(1977年47歳で没)の遺志を受け継いで、白川郷から五箇山を桜でつなごうという目的で桜の植樹活動を実施しています。近年は他の風景街道との連携も始まり、「江戸・東京・みらい街道」にチューリップの球根や「ふくしま浜街道ハッピーロード」に桜の苗木を贈呈しました。



桜の植樹活動の様子(相倉地区)



植樹活動後に開花した桜

③ 普及啓蒙活動

風景街道の普及啓蒙活動として、各種意見交換会やシンポジウムなどを開催し、沿線住民や風景街道パートナーシップ団体の意識向上に努めています。過去には「白川郷・五箇山を考えるシンポジウム」や国・県から多数のお客様をお招きし、「風景街道意見交換会」などを実施しております。

また、平成25年度には6月1日に東京大学先端科学技術研究センター所長の西村幸夫さんをお招きし、「西村幸夫町並み塾 in 白川郷」を開催し、県内外から多数の聴講者が訪れました。



西村幸夫町並み塾の様子



集落内見学会

4. 終わりに

風景街道登録を契機に始まったこの活動ですが、風景街道の趣旨や目的が地域住民等に伝わるには粘り強く活動していくことが大事なと感じております。今後も身の丈にあった活動しかできませんが微力ながら頑張っていきたいと思っています。是非ともこの地域へお越しの際は高速道路ではなく一般道経由でお越しいただきたいと思ひます。

< 執筆者 >

「合掌・さくら」飛越街道～世界遺産をめぐる道～ 行政事務局

シリーズ：社会資本整備総合交付金等の活用事例

八百万（やおよろず）の神が集う「ご縁の国」の取り組み

ルート名：人間文化の原風景 ～ご縁をつなぐ神仏の通ひ路～

1. ルートの概要

日本風景街道「人間文化の原風景～ご縁をつなぐ神仏の通ひ路」は鳥取県西部と島根県東部にまたがる「中海・宍道湖・大山圏域」で、古事記・日本書紀で語られる神話の舞台となった地域です。一般に10月は神無月と言いますが、陰暦の10月は日本中の八百万の神々が出雲の国に集まり、様々な縁を結ぶ話し合いがされるといわれ、出雲ではこの時期を「神在り月」と呼び、神様をお迎えする様々な神事が受け継がれています。「～神仏の通ひ路～」とは、こうした神々や仏に近い国という意味が込められています。

平成24年には古事記編纂から1300年、平成25年には大國主神を御祭神としてお祀りする出雲大社の60年ぶりの御本殿他諸社殿等の「平成の大遷宮」が行われました。

関連した島根県の誘客プロジェクトや、街路事業による神門通りの整備、中国横断自動車道尾道松江線松江自動車道の開通等もあり、全国から多くの方々にこの地域を訪れていただきました。遷宮に関連する奉祝行事は平成28年3月まで続きますので是非この機会に当地域へお越し下さい。

活動エリアは、鳥取県・島根県にまたがり、（なかうみ しんじこ だいせん）中海・宍道湖・大山に隣接する8市町の行政区域にわたります。従来から中海・宍道湖を囲む地形形状から「8の字状」での連携が言われ、将来的に無限大の結びつきを深めていこうとしています。

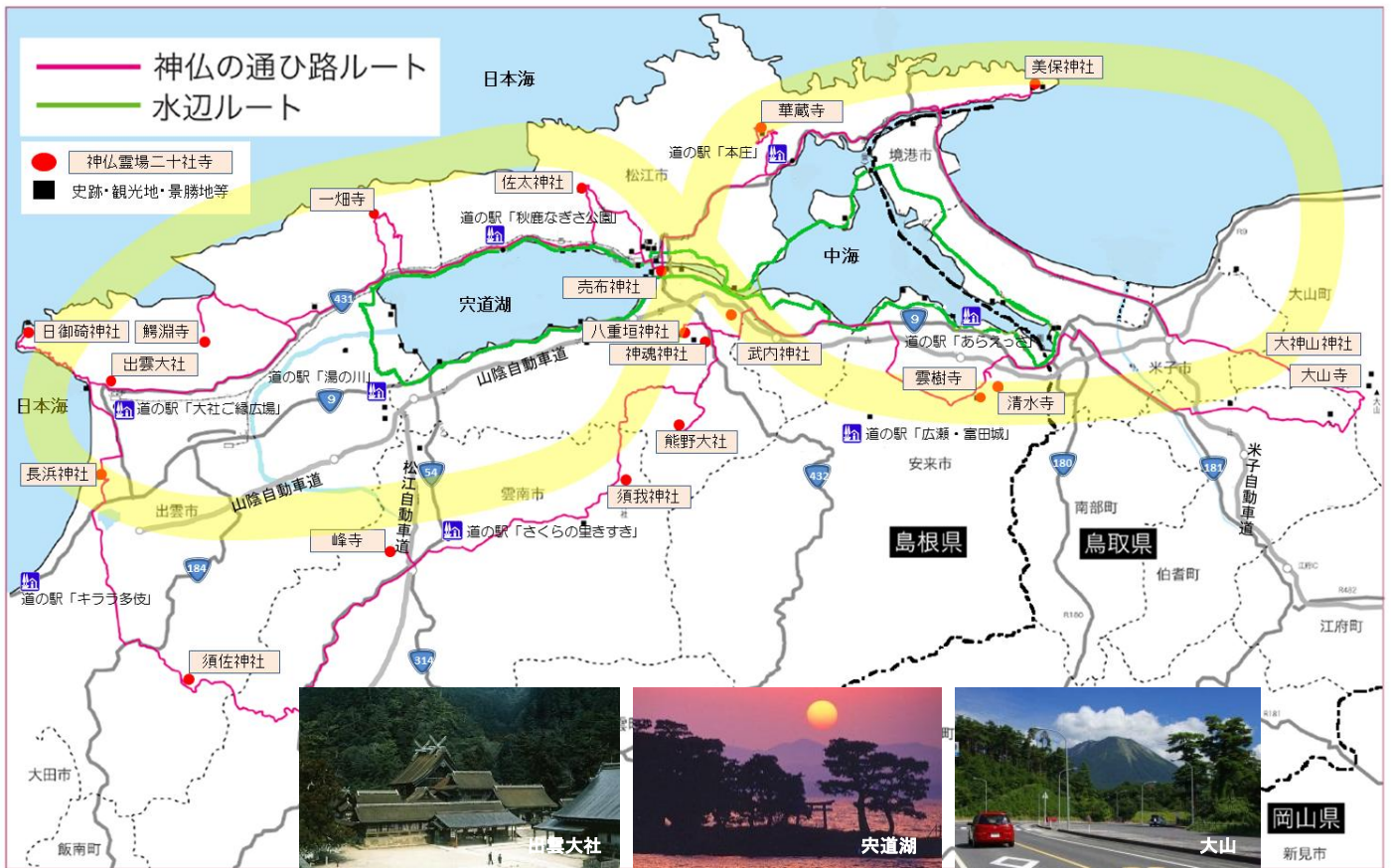
日本風景街道「人間文化の原風景」は、この地域を周遊する「神仏の通ひ道ルート」と「水辺ルート」の二つの骨格ルートからなります。

「神仏の通ひ道ルート」は中海・宍道湖・大山地域で、千年を越える歴史を持つ出雲大社や清水寺といった神社・仏閣が連携して開場した「出雲國神仏霊場」の20社寺を巡る約300kmのルートです。この道は車は勿論ですが、時間をかけて徒歩で巡拝するにも適した新しい自分発見の道としても注目されています。

「水辺ルート」は中海・宍道湖の湖面や川面をかたわらに眺めながらの100kmのルートになります。車なら少しの時間で周遊は可能ですが、多くの景観スポットや湖に面したカフェやレストラン等も多く点在し、空と湖水、緑なす山脈などのロケーションを楽しめるルートになっています。



出雲大社前・神門通りのにぎわい



活動エリアとルート

2. 風景街道の活動

「神仏の通ひ路」を運営するパートナーシップには、この圏域で現在地域づくり活動を行っている19の民間団体と、国土交通省、沿線自治体の道路管理者が参加して、連携した活動を行っています。

活動の内容としては、「出雲国神仏霊場」等参画している個々の団体の活動について連携を図るほか、風景街道パートナーシップとしても、取り組みを行っており、そのうち、象徴的な活動となっているのが湖水街道カフェであり、毎年の秋季に宍道湖湖畔の夕日スポットで赤いパラソル、テーブル、チェアを置きコーヒーを楽しみながら宍道湖に沈む夕日を楽しむ場を提供しています。このカフェセットはパートナーシップに参加する団体にも貸出を行い、宍道湖畔だけでなく、各地域で楽しんで頂ける場の創出を行っています。

また、パートナーシップの構成員を対象とした勉強会、モニターツアーの開催を行なうとともに、道路管理者と連携し、ガイドブックの作成やそれを使った、当地域を直接PRする活動等にも取り組んでいます。



宍道湖夕日スポットでの湖水街道カフェ



広島市で行われたイベントでのPR

3. 社会資本整備総合交付金等を活用した環境整備について

① ルートサインの設置

古事記編纂 1300 年、出雲大社の大遷宮などの県外客の来訪機会の増大に対応するため、平成 22 年度から平成 24 年度にかけて、登録ルート沿いに日本風景街道「神仏の通ひ路」の名称を付したサインを計 50 箇所設置すると共に、神仏霊場二十社寺や古事記、日本書紀、出雲国風土記等に登場する神話スポット等で案内標識がない場所 18 箇所についてサインを設置しました。



神仏霊場二十社寺のサイン



神仏の通ひ路ルートサイン

② 道の駅での整備

道の駅と連携して日本風景街道の取り組みを効果的に推進するため、登録ルート沿線の道の駅に「日本風景街道 神仏の通ひ路」を付記した大型看板の設置を行いました。また、来訪者が指さし確認できる大きさの案内地図版を設置しています。

道の駅の情報コーナーでは、風景街道のブースを設置して、湖水街道推進会議にて作成したガイドブックや、パートナーシップに参画する各団体や自治体の観光パンフレット等を配置し、日本風景街道として当地域をPRする取り組みを行っています。



風景街道案内地図版（道の駅「本庄」）



風景街道大型看板（道の駅「秋鹿なぎさ公園」）



風景街道を紹介するブース（道の駅「湯の川」）



風景街道を紹介するガイドブック

③ ビュースポットの整備

宍道湖・中海や神話の舞台となった山々が作り出す、当地域の特徴的な景観が眺望できる場所に車を止めてゆっくりと楽しんでいただくために、公共用地の3箇所にビュースポットの整備を行いました。

ビュースポットにはそこから眺めることのできる景観と神話解説を付記した風景解説板を設置しています。



ビュースポット全景（西代橋）



風景解説版（西代橋）

4. 今後の展開

島根県による社会資本整備総合交付金等を使用した、ルート上のサイン等の環境整備は概ね平成 24 年度で終了しました。今後は整備した環境が有効に活用されるよう、パートナーシップに参画する民間団体や道路管理者が連携してガイドブックの充実をはかる等、来訪者に満足していただける活動を進めていきます。

風景街道地方協議会及び連絡窓口はこちらへ

風景街道の活動を積極的に支援するために、各風景街道地方協議会に連絡窓口を設置しております。
日本風景街道に関するご相談等がございましたら、風景街道地方協議会の連絡窓口までご連絡下さい。

◆風景街道地方協議会の連絡窓口一覧

担当部署	担当者氏名	電話番号
シーニックバイウェイ北海道推進協議会 (北海道開発局 建設部 道路計画課 内)	畑山 朗	011-709-2311(代表) (内線 5845)
東北風景街道協議会 (東北地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	増澤 亨	022-225-2171(代表) (内線 4256)
風景街道関東地方協議会 (関東地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	石浜 康賢	048-601-3151(代表) (内線 4252)
北陸 風景街道協議会 (北陸地方整備局 道路部 道路計画課 内)	稲本 義昌	025-280-8880(代表) (内線 4213)
風景街道中部地方協議会 (中部地方整備局 道路部 計画調整課 内)	稲垣 光正	052-953-8171(代表) (内線 4312)
近畿風景街道協議会 (近畿地方整備局 道路部 地域道路課 内)	南條 耕平	06-6942-1141(代表) (内線 4612)
中国地方風景街道協議会 (中国地方整備局 道路部 地域道路課 内)	糸原 保	082-221-9231(代表) (内線 4613)
四国風景街道協議会 (四国地方整備局 道路部 地域道路課 内)	野上 直樹	087-851-8061(代表) (内線 4631)
九州風景街道推進会議 (九州地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	石橋 賢一	092-471-6331(代表) (内線 4252)
沖縄地方風景街道協議会 (沖縄総合事務局 開発建設部 道路建設課 内)	末光 勇次	098-866-1914(代表) (内線 4353)

【ご意見お寄せください】

日本風景街道だよりは、地域の皆様へ様々な情報を提供することを目的に年4回程度発行する予定にしています。掲載内容などご意見・ご感想がございましたら、下記までお気軽にお寄せください。

日本風景街道だより

発行：国土交通省道路局環境安全課道路環境調査室
東京都千代田区霞が関2-1-3
TEL: 03-5253-8497 FAX: 03-5253-1622

<http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/index.html>